

国分寺都市計画道路 3・2・8 号線沿道まちづくり

横断施設設置に関する市の方針等に関するオープンハウスの記録

1 日目：平成 22 年 12 月 7 日(火) 15:00 ~ 20:00

2 日目：平成 22 年 12 月 11 日(土) 10:00 ~ 15:00

- 目 次 -

1	開催概要	
1	1. 開催目的	1
2	2. 開催状況	1
3	3. 勉強会の概要	1
2	参加者からの意見等	
1	1. 質疑	
(1)	(1) 1日目(12月7日(火)国分寺市役所第5庁舎1階会議室)	2
(2)	(2) 2日目(12月11日(土)国分寺市役所プレハブ会議室第一)	4
2	2. 個別質疑	
(1)	(1) 1日目(12月7日(火)国分寺市役所第5庁舎1階会議室)	6
(2)	(2) 2日目(12月11日(土)国分寺市役所プレハブ会議室第一)	8
3	3. 意見箱	
(1)	(1) 1日目(12月7日(火)国分寺市役所第5庁舎1階会議室)	10
3	参考資料	
1	1. 当日の様子	11
2	2. 広報資料	13
3	3. 説明資料	14
4	4. 掲示資料	24

1. 開催目的

平成 21 年 9 月に作成した「国分寺都市計画道路 3・2・8 号線沿道まちづくり計画」に基づき、具体的なまちづくりに取り組むにあたり、「国分寺都市計画道路 3・2・8 号線」の進捗状況並びに今後の予定や「まちづくり計画」の概要についての情報提供及び、市民の疑問や質問に市担当者が直接答えることによる地域住民の方々との双方向コミュニケーションを目的とした「オープンハウス」を開催した。

本オープンハウスにおいては、市民生活にとって非常に重要な問題である、国 3・2・8 号線への横断施設の設置箇所などについて、現在の市の検討状況を中心に情報提供を行った。

2. 開催状況

日 時	平成 22 年 12 月 7 日(火) 15:00 ~ 20:00	平成 22 年 12 月 11 日(土) 10:00 ~ 15:00
会 場	市役所第 5 庁舎 1 階会議室	市役所 プレハブ会議室第一
参加人数	12 名 (勉強会参加者 8 名)	25 名 (勉強会参加者 12 名)
2 日間合計 37 名 (勉強会参加者 20 名)		

3. 勉強会の概要

説明：『国 3・2・8 号線への横断施設設置に関する市の方針について』

街路事業について（事業概要、構造、幅員構成（案）、横断施設設置予定箇所）

横断施設設置に関する市の方針（検討フロー、条件整理、利用実態調査結果）

展示：国 3・2・8 号線の事業計画パネル・模型

1. 質疑

(1) 1日目(12月7日(火)国分寺市役所第5庁舎1階会議室)

【横断施設設置方針等について】

質問)東京都は、市の方針について了解しているのか。

回答)市の方針については、概ね伝えているが、今回の横断施設に関する調査結果等については、これから東京都に提示する予定である。

質問)市役所裏の辺りは具体的にどのように横断施設が設置されるのか。道路を横断して市役所の敷地を通ることに支障はないのか。また、国3・2・8号線ができるのとどのくらい迂回しなければならないのか。

回答)周辺住民や来庁者の利便性等を考えて、市役所敷地の西側付近への横断施設の設置を都に要望していく。その場合、歩行者は市役所脇の道もしくは市役所敷地内を歩いて市役所通りに入るルートが主となり距離的には大差はない。ただし、戸倉一丁目の西武線付近の方は、西武線立体の側道を使うルートとなる。

質問)市役所の出入口が道路計画線にかかるが、出入口の箇所を移設する等考えはあるのか。

回答)市としては街路と市役所の敷地が接する部分に何らかの入り口を設置する予定。

意見)市役所付近について横断施設が必要と考えていたが、市の検討によりその必要性が明らかとなって感謝している。

【道路整備計画について】

質問)自宅周辺が道路計画線にかかるかどうか教えてほしい。

回答)縦覧図書を確認し、回答。

質問)街路ができることで街路の周辺は東西に分断されて行き来は不便になるが、何か地域住民にとってのメリットはあるのか。

回答)市内に大病院がなく、急患は近隣市の病院に搬送されているが、街路整備により府中病院に早く搬送することができる。また、街路周辺で火災が発生した場合も、街路が火災の延焼を防ぐとともに、緊急車両の到達も早くなるなどのメリットがある。

意見)周辺の道路番号31から35の通過交通は多いが、街路ができるとこれらの道路の交通量がさらに増えて危なくなるのではないかと懸念している。また、内藤橋から奈良橋通りにかけての通りも自動車の交通量が相当多く、かなり早いスピードを出す自動車もあり、歩行者にとって危険な通りである。

回答)周辺には南北方向の幹線道路が無いために日吉町1丁目周辺の細い道路を多くの自動車が

通っている。街路ができることで南北方向の交通が担保されれば、むしろ周辺の道路番号 31 から 35 や内藤橋から奈良橋通りの通過交通は減る可能性がある。

【道路整備後の土地利用について】

質問) 街路の周辺は住宅や畑が多くを占めているが、街路整備後には沿道に何か商業施設が建ち並ぶようになるのか。

回答) 街路周辺は、大部分が第一種低層住居専用地域に指定されているため、用途地域の変更を行わなければ沿道に商業施設は立地されない。

【工事について】

質問) 工事はいつ始まるのか。工事が始まれば振動や騒音で周辺住民は迷惑するのではないか。また、現在、第五小学校付近で行っている作業は何か。

回答) 工事は今年度中に開始する予定である。また、現在、第五小学校のそばで行っている作業は東京都による文化財の試掘調査作業である。

(2) 2日目(12月11日(土)国分寺市役所プレハブ会議室第一)

【横断施設設置方針等について】

質問)現在の市道から計画道路への出入りは自由にできるのか。

回答)一部高低差がある箇所を除き、交差する市道は本線に接続する。車の出入りについては、交通処理とあわせ検討する必要があるが、信号交差点のない箇所は本線への進入が左折のみとなる可能性がある。

質問)歩道橋はつくらないのか。

回答)今は歩道橋を使う人が少ないため、平面での横断となる横断歩道を基本に考えている。

【道路整備計画について】

質問)完成イメージは多喜窪通りから先の完成している区間のイメージか。

回答)概ねその通りである。根岸病院から東八道路の区間は周りが公園や病院などだが、道路整備のイメージとしては近いものであり、参考となる。

質問)道路の計画線が内藤神社付近で折れているのは、何か理由があるのか。

回答)都市計画決定時に検討されたと思うが詳細は不明

質問)アンダーパスとオーバーパス部の側道の歩道はどのようになるのか。

回答)(断面図を示しながら説明。)平面部、アンダーパスとオーバーパスの本線及び側道のいずれも歩道が整備される。側道の歩道でも幅は3.5mの予定である。

質問)他では自転車専用レーンがあるところもあるが、国3・2・8号線は環境施設帯の中で自転車と歩行者を分けるのか。

回答)東京都がモデルをつくり、今後どのような環境施設帯になるか現場で説明する機会がある。市としても市民からの要望を集め、東京都とも話し合いをしていきたい。

質問)街路樹の高さはどのくらいになるのか。街路を森のようなトンネルにはしないのか。

回答)「森の中を走る感じがいい」とか「なるべく木は無い方がいい」とか、人によって様々な意見がある。現在イメージ図で示しているのは、あくまでもイメージであり、樹種等については今後、都が検討を行うこととなる。沿道まちづくりの一環として市も関与していきたい。

質問)街路樹の手入れは誰が行うのか。

回答)道路管理者である都が行う予定だが、住民参加もありうる。

質問)道路に電柱はあるのか。

回答)国3・2・8号線については無電柱化の予定である。

質問)自動車で道路を走行中、大きな交差点でUターンは可能なのか。

回答) 各鉄道との立体交差点付近については、側道を通ってUターンは可能であるが、基本的に平面交差点内ではUターン禁止となると思われる。今回の横断箇所については、歩行者・自転車に限定して検討しており、自動車でのUターンが可能な交差点の設置場所については、今後の検討課題である

【道路整備後の土地利用について】

質問) 街路完成後、沿道に商業施設はできないのか。

回答) 街路周辺は、大部分が第一種低層住居専用地域に指定されているため、用途地域の変更を行わなければ沿道に商業施設は立地されない。

2. 個別質疑

(1) 1日目(12月7日(火))国分寺市役所第5庁舎1階会議室)

【横断施設設置方針等について】

質問)既存の市道から国3・2・8号線に乗り入れる場合、どのように接続するのか。

回答)一部高低差がある箇所を除き、交差する市道は本線に接続する。ただし、車の出入りは、交通処理とあわせ検討する必要があるが、信号交差点のない箇所は本線への進入が左折のみとなる可能性がある。

質問)中央線付近のオーバースタックの下はどうなるのか。

回答)オーバースタックの下は歩行者等が通り抜けできるため、高架下へ歩行者用の通路の確保を要望する予定である。

質問)道路整備に伴い、既存の小学校区域はどのようになるのか。

回答)現在、市の教育委員会では、区域の変更は考えていないと聞いている。場合によっては、新設道路の歩道を通学路とすることも考えられる。

質問)第五小学校のわきの通路は多くの小学生や近隣住民が通っているが、街路ができて通り抜けできなくなると多くの人が不便になるのではないか。

回答)その通路は公道や通学路ではなく、第五小学校の通学路は国3・4・6号線となっている。国3・2・8号線ができれば、その東側から第五小学校に通う生徒は環境施設帯や、国3・4・6号線との交差点の横断歩道により、比較的安全な通学路が確保されることになる。

【道路整備計画について】

質問)広域的には府中市までつながり便利だと思うが、国3・2・8号線整備に伴い、府中街道と挟まれる箇所は排気ガス等で環境が悪化するのではないか。

回答)東京都が環境影響評価を実施し、環境への影響が基準内であることを確認している。

【道路整備後の土地利用について】

質問)店舗も飲食店もない地域なので、多少便利になった方がいいと思うが、緑が多いところを求めて国分寺市に引っ越してきたので、できれば緑も残して欲しい。

回答)沿道の土地利用については、今後、住民の方々と一緒に検討していきたい。緑の保全等についても考えていかなければならない課題である。

質問)用途地域が変わるのか。固定資産税が上がるのが心配。

回答)固定資産税は、路線価の考え方に基づいており、敷地に接する道路幅員や用途地域が変わった場合に変わる可能性がある。

意見)大きな道路が出来るのなら、道路にふさわしい市民に貢献するようなまちづくりを検討したらどうか

【工事について】

質問) 事業の進捗状況と今後の事業スケジュールを聞きたい。

回答) 平成 27 年度に道路整備が完了する予定である。

質問) 既に立ち退いた建物の跡地の管理は誰がどのように行っているのか。

回答) 道路予定地の管理は都が行っている。

(2) 2日目(12月11日(土)国分寺市役所プレハブ会議室第一)

【横断施設設置方針等について】

質問)横断箇所は沿道の土地利用も考慮したものとしているのか。

回答)横断施設設置方針は、現在の道路利用状況に基づき検討を行っている。将来、沿道の土地利用が変われば、その時点で横断施設設置箇所を新たに検討することになる。沿道の土地利用のあり方については来年度から市民とともに検討する場を設けるので是非参加してほしい。

質問)年寄りには横断歩道を渡りきれぬのか。

回答)信号の時間は警視庁が決められているが、要望を伝えることはできる。

質問)国3・2・8号線には既存の市道や市役所裏の入り口から自由に出入りできるのか。

回答)一部高低差がある箇所を除き、交差する市道は本線に接続する。また、自動車に関しては、道路には中央分離帯があるため、自由に右左折できるということにはならない。

意見)市役所周辺に住んでいる。横断施設の検討がどのように行われたか確認に来たが、検討内容に満足している。

質問)戸倉通り周辺の道路は、国3・2・8にどのように接続するのか。また、今まで通り使えるのか知りたい。

回答)戸倉通りには横断施設の設置が予定されている。

【道路整備計画について】

質問)歩道が広すぎないか。

回答)歩道を含めた環境施設帯の整備内容については、今後都が検討していく。都が整備している調布保谷線では、現地にモデル的な整備箇所を設置して説明会を行っている。

意見)国3・4・6号線の整備が熊野神社のあたりでストップしているが、なんとか早く延伸させてほしい。

意見)市内にいい道路が一本もない。中央線沿線はどこも同じだ。

意見)事業やまちづくりについて、児童を対象にしたワークショップなども考えたらどうか。

【道路整備後の土地利用について】

意見:市役所周辺に住んでいるが、恋ヶ窪駅から市役所までは土地活用がしやすいが、今後、道路の西側についても土地を活用できるまちづくりが必要と考える。

【工事について】

質問)現在、道路予定地の更地部分を休憩所等として利用している箇所があるが、今後、同様の

使い方をできるのか。子どもたちがボール遊び等ができる場所として利用できないか。

回答) 来年度から道路工事に入る予定のため、安全管理上の問題から道路予定地内の暫定的な利用は難しいと思う。ただし、ポスター掲出等のための活用は行っている。

意見) 空き地に掲示板をたてて「まちづくりニュース」などを掲示して、コンスタントに情報提供をしてほしい。

意見) いろんな世代が使う街路だから、いろんな世代の人が知って関われるよう、沿道まちづくり推進地区から外れている「いなげや」や「マルエツ」などにもニュースやチラシなどを置かせてもらって、より多くの住民に周知を図ってはどうか。

意見) 通学路のことや内藤橋・奈良橋通り周辺の横断のこと、工事のことなどを第五小学校のPTAや生徒向けに説明する機会を年度内(PTAの任期中)につくってほしい。また、点在する収用された空き地について、子どもたちが遊び場として使いたがっている。もったいないので工事着工までは子どもたちに開放してほしい。

意見) 子供の通学路も工事の範囲に入るようだが、工事を行うと、今まで使っていた道路が工事中にどうなるか心配

意見) 工事実施前に小学校への事前の通知をお願いしたい。

意見) 工事の進捗状況が知りたい。

3．意見箱

(1) 1日目(12月7日(火)国分寺市役所第5庁舎1階会議室)

意見)資料が見やすくて良かった。もっと市民(近くに住む人)が、このオープンハウスを知れば、道路に興味をもてると思う。

意見)内藤橋(の南で奈良橋通りと分かれる)西側の通りに「ぶんバス」を通してほしい。

(2) 2日目(12月11日(土)国分寺市役所プレハブ会議室第一)

なし

1. 当日の様子

平成 22 年 12 月 7 日：市役所第 5 庁舎



平成 22 年 12 月 11 日：市役所プレハブ会議室第一



2. 広報資料

(1) 市報国分寺

国分寺都市計画道路3・2・8号線沿道まちづくりオープンハウスを開催

国分寺都市計画道路3・2・8号線沿道まちづくりの情報提供を行うイベント「オープンハウス」を開催します。

今回は、生活に密着した道をテーマに、横断施設設置に関する勉強会の時間を1時間ほど設けます。

オープンハウスは時間内であればどなたでも自由に入退場できます。ぜひお越しください。

【日時】①12月7日(火)午後3時～8時(勉強会)午後3時～4時
②11日(土)午前10時～午後3時(勉強会)午前10時～11時

【会場】①市役所第5庁舎1階会議室②市役所プレハブ会議室

↓都市計画課(内務)

9月のオープンハウス



(2) まちづくりニュース

オープンハウスを開催します

今回は、生活に密着した道をテーマに、これまでにご紹介したアンケートの結果と、それに基づき検討した横断施設設置方針に関する資料の展示・情報提供を行います。また、これらの説明等を行う「勉強会」の時間を1時間程度設けます。時間内であれば、どなたでも自由に入退場できますので、ぜひお立ち寄りください。

12月7日(火)
午後3:00～午後8:00
勉強会 午後3:00～
第5庁舎 1階会議室

12月11日(土)
午前10:00～午後3:00
勉強会 午前10:00～
プレハブ第一会議室

両日の開催時間が異なります。
お時間をご確認の上
お越し下さい。



国分寺都市計画道路 3・2・8号線 沿道まちづくり計画

※計画書は以下の場所やホームページでご覧いただけます。
都市計画課(市役所第2庁舎2階)、
まちづくりセンター(市役所第3庁舎1階)
オープナー(市役所附属棟)、内藤地域センター、各公民館
<http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/torikumi/4254/009646.html>



3. 説明資料



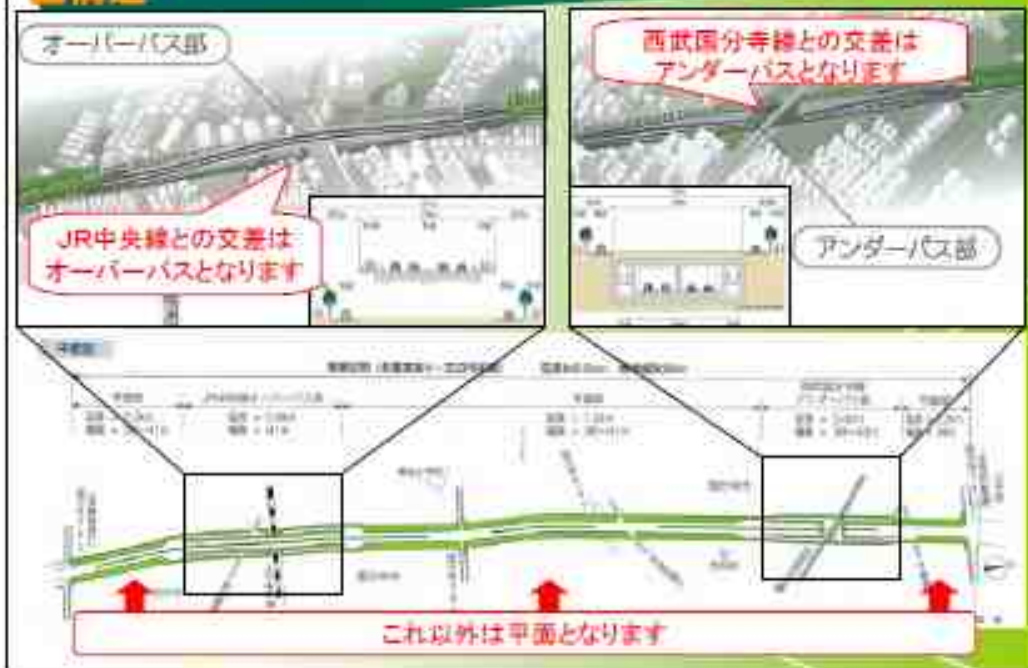
1. 街路事業について

事業概要

国分寺都市計画道路3-2-8号 府中所沢線	
区間	府中市武蔵台3丁目～ 国分寺市東戸倉2丁目
車線数	往復4車線
道路幅員	36m(標準部) 車道16m＋ 環境施設帯10m×2
整備延長	約2.5km
事業主体	東京都
事業期間	平成19年度～ 平成27年度(予定)

国3・2・8号線

縦構造



縦幅員構成(案)





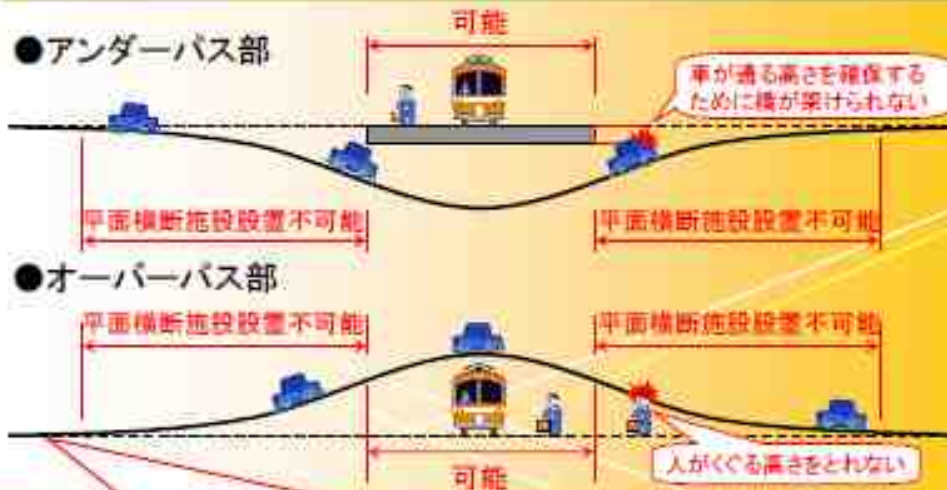
図基礎検討

交差点周辺は、交通処理上、横断施設の設置は不可能。



図基礎検討

立体交差区間は道路構造上、横断施設の設置は不可能



また、立体構造区間の前後は、視認性が低い、ブレーキがかかりにくいなど、安全性の観点から平面交差点の設置は望ましくない。

調査条件整理まとめ



調査利用実態把握



現状把握

調査目的

- ・市民の移動実態を反映した適切な施設設置の検討
- ・周辺住民および市民全体の意見聴取

調査方法

(周辺調査)

- 調査時期:H22.9
- 調査対象:2,267世帯



- 回収票数:534票

(広域調査)

- 調査日:H22.11.7
- 回答票数:472票



周辺調査結果



広域調査結果









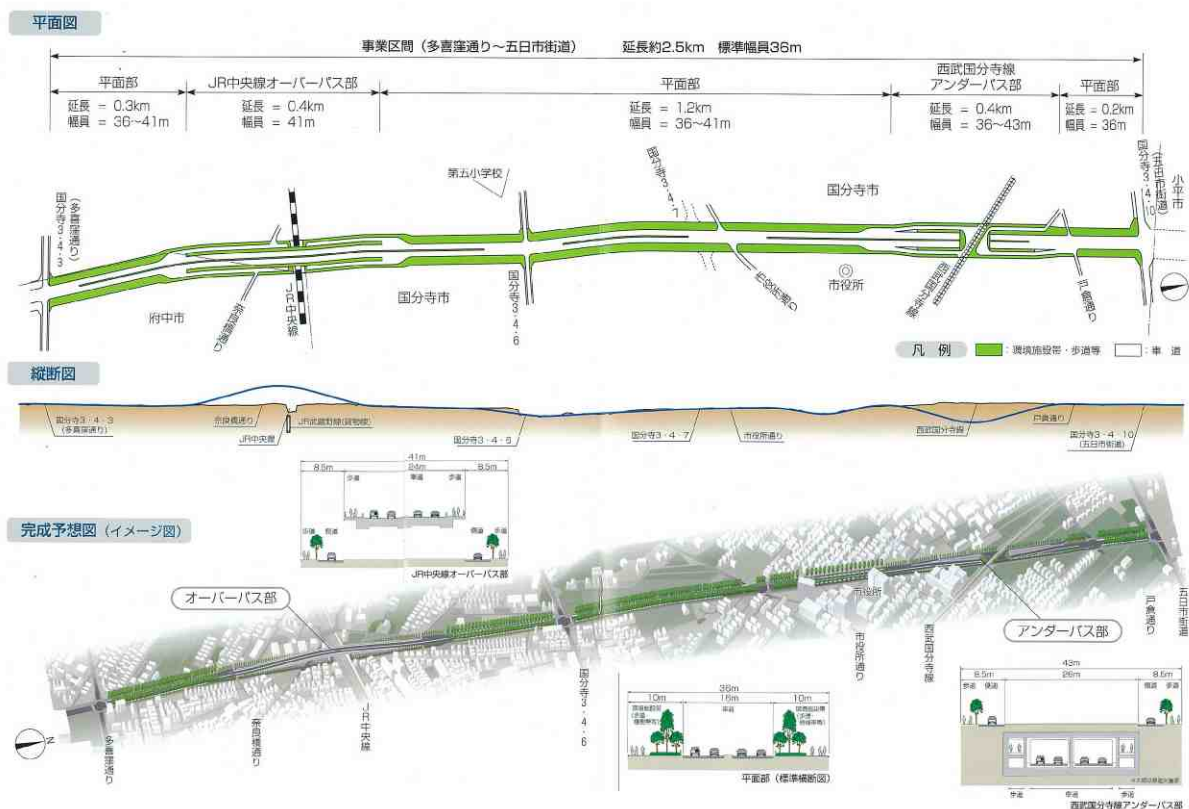
これらを、国3・2・8号線への横断施設設置に関する市の方針としてとりまとめ、事業者である東京都へ要望してまいります。

ご静聴ありがとうございました。

4. 掲示資料

国3・2・8号線の概要

国3・2・8号線の概要

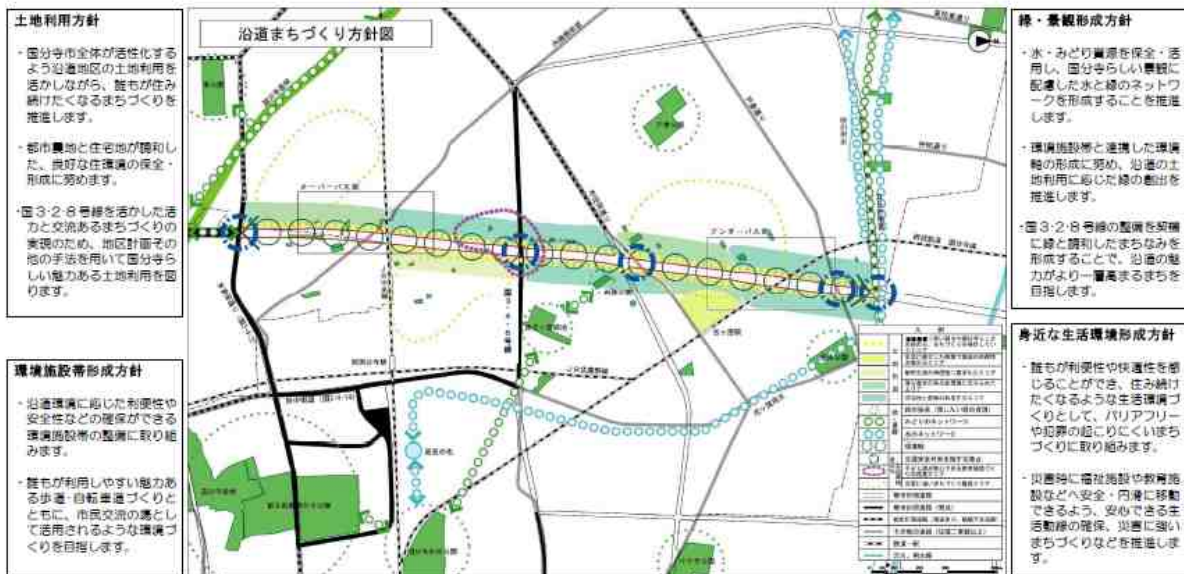


まちづくり方針図

国3・2・8号線沿道まちづくり方針

沿道まちづくりの方針は、基本理念を踏まえて、市民・国分寺市・事業者（東京都）基本方針は、『土地利用』『緑・景観形成』『環境施設等形成』『身近な生活環境形成』

が将来の実現化のため取組むべき役割や、その方向性を示したものです。の4つです。



横断施設設置に関する市の方針の考え方

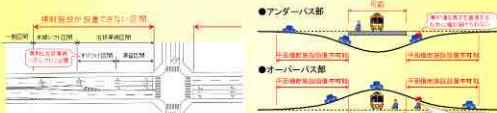
横断施設設置に関する市の方針の考え方

基礎検討

交通処理や道路構造の観点から、横断施設を設置できない区間を整理

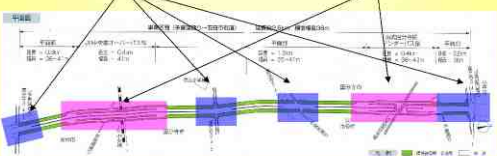
交差点周辺は、交通処理上横断施設の設置は不可能

立体交差点区間は道路構造上横断施設の設置が不可能



交通処理上不可能な区間

構造上不可能な区間



利用実態把握

調査目的

- ・市民の移動実態を反映した適切な施設設置の検討
- ・周辺住民だけでなく市民全体の意見聴取

調査方法

国3・2・8号線の周辺にお住まいの方を対象とした調査（周辺調査）

- 調査時期：平成22年9月
- 調査方法：調査票をポストに投函し郵送で回収
- 調査対象：国3・2・8号線から概ね100m以内にお住まいの2,267世帯（まちづくり推進地区）
- 回収票数：534票（回収率23.6%）



【市内在住の方全体を対象とした調査（広域調査）】

- 調査日：平成22年11月7日
- 調査方法：国分寺まつり会場に開設したオープンハウス来場者への直接ヒアリング
- 回収票数：472票



横断施設設置位置の検討

横断施設設置位置に関する市の方針決定

国3・2・8号線への横断施設設置に関する市の方針について

国3・2・8号線への横断施設設置に関する市の方針について

日常生活においてよく使う道路について、まちづくり推進地区にお住まいの方にアンケート調査を行った結果、以下のような幹線道路の利用が多い傾向がみられました。（市民全員を対象とした広域調査においても、同様の傾向として、幹線道路の利用が多い傾向がみられました。）

●幹線道路で利用が多い道路

- ◆幹線道路8路線（①・⑤・⑥・⑪・⑫・⑬・⑭・⑮）

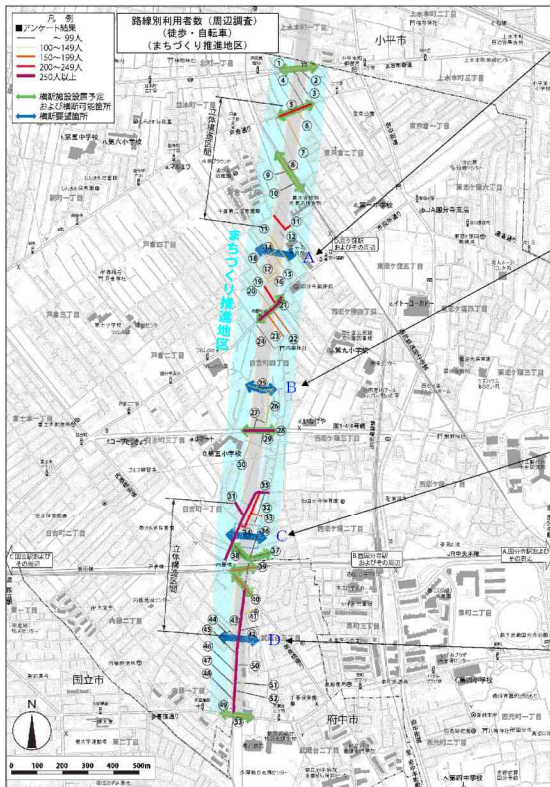
これらの道路は、横断施設設置予定箇所および横断可能箇所となっています。

また、幹線道路以外では、以下のような道路についても利用が多い傾向が見られました。

●幹線道路以外で利用が多い道路

- ◆市役所裏（⑩）～戸倉一・二・四丁目～恋ヶ窪駅方面の動線
- ◆日吉町四丁目（⑳）/市役所通り～国3・4・6号線沿道の商業施設、西国分寺駅方面の動線
- ◆日吉町一丁目（㉑）～⑳/日吉町一・四丁目～国3・4・6号線沿道の商業施設、西国分寺駅方面の動線
- ◆内藤一丁目（㉒・㉓・㉔）/内藤一丁目～西国分寺駅方面の動線

これらの道路について、移動の傾向を分析した結果、右記の横断要望箇所により、現況の動線はほぼ担保されることとなります。



⑩～⑰
戸倉1・2・4丁目～恋ヶ窪駅方面の動線
↓
要望箇所A（市役所裏）の横断で動線担保

⑳
市役所通り～国3・4・6号線沿道の商業施設、西国分寺駅方面の動線
↓
要望箇所B（市道中204号線）の横断で動線担保

㉑～㉓
日吉町一・四丁目～国3・4・6号線沿道の商業施設、西国分寺駅方面の動線
↓
要望箇所C（JR中央線高架下）の横断で動線担保

㉒・㉓・㉔
内藤一丁目～西国分寺駅方面の動線
↓
要望箇所D（奈良橋通り南側）の横断で動線担保